

ぱいぶる

- P. 2 …………… 第2回臨時会、6月定例会「議案審議」、陳情・意見案
- P. 3 …………… 第2回臨時会及び6月定例会の議案等に対する「各議員の態度」
- P. 3～7 ……… 市政のここが聞きたい「一般質問」
- P. 8～9 ……… 平成26年5月10日開催「議会報告会」の結果報告、アンケート集約結果
- P.10 …………… 9月定例会「日程」、特別委員会の設置、編集委員の紹介等



平成26年5月10日開催：議会報告会の様子

高浜市議会臨時会

第2回臨時会が、5月16日、会期1日間の日程で開催されました。

主な内容は、議会の人事。議長の辞職及び選挙、副議長の辞職及び選挙、常任委員会委員の選任、議会運営委員会委員の選任、外郭団体等特別委員会委員の選任、議会改革特別委員会委員の選任、衣浦衛生組合議会議員の選挙、衣浦東部広域連合議会議員の選挙について。

【同意第3号】
監査委員の選任について

監査委員に、幸前信雄議員が選任された。



議案審議

平成26年6月高浜市議会定例会が、6月6日から6月25日までの20日間の会期で開かれました。審議された議案等は、3ページの「6月定例会議案等に対する各議員の態度」の件名欄をご参照ください。

諮問

【諮問第1号】

人権擁護委員の任期満了に伴い、榊原純一氏を推薦するため、議会の意見を求めるもの。

条例等

【議案第34号】

法人市民税の税率10分の12・3を100分の9・7に改正する。また、軽自動車税7200円を1万8000円に改正し、最初の車検から13年以上の軽4輪車は1万2

900円にするなど。

【議案第35号】

地方税法の一部改正に伴い、条文の整備を行うもの。

【議案第36号】

国民健康保険税の課税限度額を77万円から後期高齢者支援金等課税額を2万円、介護納付金課税額2万円合わせて4万円を加え、81万円とする。また低所得者の2割減額、5割減額の基準を拡大するもの。

【議案第37号】

消防団員の退職報償金の支給額を増額するもの。

【議案第38号】

消防団員の年齢要件を20歳以上から18歳以上に引き下げる等、資格要件を緩和するもの。

補正予算

【議案第39号】

一般会計予算歳入歳出それぞれ4167万1千

円を加え、総額を136億947万1千円とする。

補正の内容は、「介護保険システム電算管理事業」で「ソフトウェア開発修正業務委託」2640万円追加するなど。

新規事業として、「妊娠出産包括支援事業」571万8千円、「アシタのたかはま研究事業」のうち「しあわせづくり計画策定業務委託」432万円などを追加計上する。

陳情・意見案

6月定例会に陳情3件、意見案6件が提出されました。陳情については、総務建設委員会、福祉文教委員会に振り分けて付託し、それぞれの委員会で審査され、本会議の場において陳情及び意見案が採決されました。なお、陳情・意見案の件名は、3ページの「6月定例会議案等に対する各議員の態度」をご参照ください。

【賛 成】 手話を日常的な言語と理解し、広めていくための法整備が必要。

【陳情第2号】

【反 対】 民営化、民間委託が、住民サービスの低下を招いているとはいえない。

【賛 成】 公契約条例は、適正な下請け単価、雇用確保のため必要。

【陳情第3号】

【反 対】 自衛隊への職場体験活動が、なぜいけないのか明確な理由がない。

【賛 成】 原発を直ちに廃炉にし、自然エネルギーへの転換を図るべき。

可決された意見案の意見書の提出先

【意見案第6号】 内閣総理大臣



議案等に対する各議員の態度		各会派	市政クラブ							公明党	共産党	市民 クラブ	藤志 会				
			磯貝正隆	鈴木勝彦	北川和人	杉浦敏和	杉浦辰夫	幸前信雄	柴田耕一					浅岡保夫	柳沢英希	小野田由紀子	小嶋克文
※ 同=同意																	
種類 / 番号	件名	議員氏名															
第2回臨時会			結果	○=同意 ●=不同意													
同第3号	監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 内藤皓嗣議員は、議長職のため表決権はありません。

議案等に対する各議員の態度		各会派	市政クラブ							公明党	共産党	市民 クラブ	藤志 会				
			内藤皓嗣	鈴木勝彦	北川和人	杉浦敏和	杉浦辰夫	幸前信雄	柴田耕一					浅岡保夫	柳沢英希	小野田由紀子	小嶋克文
※ 諮=諮問 議=議案 陳=陳情 意=意見案																	
種類 / 番号	件名	議員氏名															
6月定例会			結果	○=賛成・採択・同意 ●=反対・不採択・不同意 趣=趣旨採択													
諮第1号	人権擁護委員の推薦について	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第34号	高浜市税条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議第35号	高浜市都市計画税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第36号	高浜市国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第37号	高浜市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第38号	高浜市消防団条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第39号	平成26年度高浜市一般会計補正予算(第1回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳第1号	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳第2号	憲法をいかして働く者の権利を守り、住民生活の向上を求める陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○
陳第3号	憲法をいかして働く者の権利を守り、住民生活の向上、核兵器のない平和な世界を求める陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○
意第1号	公約違反と秘密交渉のTPP交渉から撤退を求める意見書	否決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○
意第2号	解釈改憲による集団的自衛権の行使容認に反対する意見書	否決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○
意第3号	特定秘密保護法の廃止を求める意見書	否決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○
意第4号	消費税増税の中止を求める意見書	否決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○
意第5号	中部電力・浜岡原子力発電所の廃炉を求める意見書	否決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○
意第6号	「手話言語法」制定を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 磯貝正隆議員は、議長職のため表決権はありません。結果欄の「◎」は、「異議ない旨答申」です。



一般質問

市政の

ここが聞きたい!

一般質問は、定例会で議員が議案に関係なく市政全般について市の方針をただすものです。
なお、掲載文は質問議員本人の原稿によるもので、各議員の質問と当局の答弁の要旨は次のページのとおりです。



黒川美克 議員

都市計画について

問 市街地整備基本計画を策定せよ。

答 土地利用計画を軸とする面整備の必要な区域や道路等の都市施設の整備方針に対して、第6次総合計画の基本計画の各アクションプランで取り組みを推進しており、市街地整備基本計画の策定についての趣旨は十分理解していますので、今後、都市計画マスタープランの見直しをする中で、その時点の経済状況、将来人口問題等を踏まえ、周辺環境の変化や外的要因にも注視し、慎重に検討します。

問 高浜市公共施設のあり方計画と市街地整備基本計画の整合を図れ。

答 公共施設のあり方計画は、40年間という長期的な計画の中で、公共施設が持つ機能を重視し、施設の長寿命化や機能の集約化・複合化等による総量圧縮と将来コストの削減目標を掲げ、

平準化を図る内容となっており、更新の際に市街地整備を併せて行う考え方はありません。

人事行政組織について

問 行政組織の考え方について。

答 構造改革推進検討委員会報告書や2005組織構造改革報告書に基づき、新しい行政課題への対応や、市民の視点に立った組織づくりをしています。今回の組織の再編と事務分担の見直し等については、各部長と事前にヒアリングを行い十分調整をしての決定です。今後とも、行政組織の見直しには、効率的で効果的な人員配置を心掛け、市民ニーズに的確に答えられるよう組織の改編を行っていきま

問 人事管理と職員の健康管理について。

答 毎年、再任用を含む正規職員及び臨時職員を対象に健康診断を実施しており、受診率は、正規職員と臨時職員を合わせ、平成25年度で94.3%と、ほぼ全職員が受診しており、また、希望者には、脳ドックや胃検診も実施しています。平成25年度の結果で要治療又は治療中の割合は正規職員で21.9%、臨時職員で22.1%です。

公共施設整備について

問 「公共施設あり方計画」の策定趣旨は。

答 公共施設は、住民の福祉を増進することを目的として、多くの市民が利用する拠点であり、市民全体の重要な財産である。高浜市では、1960年代に多くの公共施設を整備してきた。近い将来、施設の建替えや大規模改修が必要になる時期がくる。この老朽化問題への対応として、中・長期的な視点に立って、今後の行政サービスのあり方や公共施設マネジメントのあり方の全体方針となる「公共施設あり方計画」を策定するもの。

問 「公共施設あり方計画」の内容は。

答 構成は、「公共施設マネジメント基本方針」、「公共施設改善編」、「公共施設保全編」とする。「基本方針」は、「長寿命化の方針」、「改善案のモデル検討」、「民間活力による効率化の促進」、



北川 広人 議員

「近隣自治体との連携促進」、「長期的な財政シミュレーションに基づく投資的経費の検討」を柱に、今後の公共施設のあり方の方向性を取りまとめている。「改善編」では、市が保有する施設について複合化や機能移転を検討する施設と、維持・継続していく施設の棲み分けを行い、削減目標を設定し、取りまとめるもの。「保全編」では、維持していく施設について、建替え・大規模改修する基準・時期等の考え方をとりまとめたもの。

問 市役所本庁舎整備事業に耐震改修案を入れなかった理由は。

答 現本庁舎を耐震改修する場合、仮庁舎を確保し、機能移転しながらの工事が想定される。その期間は27か月。費用は仮庁舎の賃借料等も含めると13億円との試算となる。費用をできるだけ抑えて、高浜小学校の建替え整備に振り向けるため。

問 貸し手の経営悪化等によるリスクについての考え方は。

答 貸し手の倒産・撤退等のリスクは強く意識している。「事業者選定審査委員会」には、外部から法務や施設マネジメントの専門家を審査委員に入れて、審査に当たる。リスク回避については細心の注意を払い、事業を進めてまいりたい。



長谷川広昌 議員

今後の資金調達の方
について

問 今後、公共施設の老朽化等に伴う高額な借金が見込まれるため、今は少額な借金までしないほうが良いと考えるが、いかがか。

答 借金額の多寡にかかわらず、住民負担の世代間の公平性の観点、プライマリーバランスなど総合的に判断して、地方債（借金）の活用を行ってまいりたい。
問 今は借金を必要最小限とし、少しでも借金と利子のツケを残さないよう、平成25年度決算において見込まれる約5億円の剰財源の一部を、現在の予算で計上している少額の借金に充当し、借金をやめてはいかがか。
答 今後の「公共施設のあり方」を考えた場合、基金への積立も考えていく必要がある中で、地方債（借金）の活用については総合的に判断してまいりたい。
問 その考えは「貯金をするた

めに借金をする」ということではないか。私の考えとは真逆だが、今後どのような財源の調達方法を考えているのか。

答 国、県などの補助金の活用、適債事業に係る起債の活用、公共施設等整備基金の活用ですが、必要に応じ、財政調整基金を一部取り崩すことも考えております。

今後の地方公会計における
複式簿記の導入等について

問 複式簿記を導入することで、中長期的な財政運営へ活かし、「公共施設マネジメント」、「予算編成」、「行政評価」等、本市全体のマネジメントに繋がっていく、「市民の皆さまの生活をより豊かにすること」、「税金のムダをなくし、納得して納税していただくこと」、「KUNIJIBI」、「納めていただく税金自体を減らし、行政サービスは向上させていくこと」を、私は期待しておりますが、複式簿記の導入等スケジュールと課題は。

答 本市としては、今後、国の情報を的確に把握し、導入に向け、粛々と事務を進めてまいりたい。また、課題は、「いかに賢く活用していくか」が大切なことであると考えております。



小野田由紀子 議員

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるまちづくり

福祉行政について

問 「たかはま版地域包括ケアシステム」の現状と、今後どのように強化していくのか。

答 高浜市は、介護予防と在宅重視を二つの柱として、いきいき広場全体で地域包括ケアシステムを実現するための拠点と位置付け、高齢者福祉を中心に事業展開してきた。「定期巡回・随時対応型訪問介護・看護」による24時間対応や「訪問看護ステーション」により在宅生活を支えている。加えて、高齢者、障がい者にとどまらず、「こども発達センター」の開設、保健センターの移転など対象範囲を拡大し体制を整えてきた。一方、市民の福祉ニーズはますます多様化、複雑化し、家族を含め支援する仕組み、ライフステージに

応じた継続した支援ができるような「たかはま版地域包括ケアシステム」の実現を目指している。本年度からは、保健師の業務分担を見直し、地区担当制を導入し「マイ保健師」への転換を進め、更に、困難事例を扱う「権利擁護推進センター」の設置を進めており、更に、生活困窮者は制度の狭間となり、複数の課題を抱えており、そうしたことに対応できる仕組みづくりを目指してまいります。

認知症対策について

問 認知症サポーターキャラバン事業の進捗状況と、今後の目標、全てのお子さんが受講することについて。

答 高浜市では、3906人が認知症サポーターとして登録、平成29年度に、5600人の指標達成に向け努めていく。本年度も全ての小学校においてサポーター研修を計画しています。
問 認知症について、いつでも気軽に相談でき集える「認知症カフェ」について。
答 国のオレンジプランの中に普及が目標として掲げられており、将来的な、市の認知症施策の一つとして取り組む課題であると認識しています。



杉浦辰夫 議員

防犯対策について

問 平成26年4月末で住宅を対象とした侵入盗の犯罪率が、愛知県警調べで、高浜市が県下ワースト第3位の認知件数14と出ていました。又、愛知県は、住宅を対象とした侵入盗の件数が、平成19年から平成25年まで7年連続「全国ワースト1位」です。高浜市として、取り組んできた事業とその成果について。

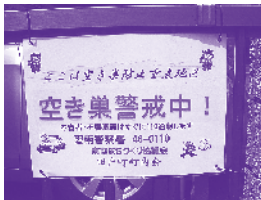
答 高浜市防犯委員会、町内会、まちづくり協議会、ボランティア団体など各種団体と碧南警察署、行政が連携した防犯対策、街頭での啓発活動、夜間の防犯パトロールの実施、子どもや高齢者などに対する防犯教室などに取り組んだ。又、委託業者による夜間防犯パトロールの準備、実施に加え、5月からは、市職員による夜間青色防犯パトロールを各部署、交代制で週2日程度実施した取り組みにより、地域・市民の皆様方の防犯意識

が高まるとともに、市内の犯罪発生件数の減少にも微力ではあるが、貢献している。
問 碧南警察署等から寄せられる犯罪情報や防犯情報の町内会やまちづくり協議会への積極的な提供は、どのような流れで地域に犯罪情報等が提供されるのか。

答 碧南警察署が運用している「パトネットあいち」による犯罪情報の提供と、碧南警察署から市の防犯担当に犯罪情報等が寄せられた際、関係する町内会やまちづくり協議会に直接、犯罪情報を提供する。

問 まちづくり協議会での特色ある防犯活動の成果について。

答 全てのまちづくり協議会において、青色防犯パトロールの実施や犯罪発生啓発チラシの掲示に努めている。南部まちづくり協議会では、犯罪情報の連絡を受け次第、電光掲示ボードに表示、又、空き巣防止重点地区「空き巣警戒中」のステッカーを配布。吉浜地区、呉竹町において、車上狙いが多発したこともあり「赤色回転灯」による防犯活動を展開され、効果を上げています。



高齢者福祉について



鷲見宗重 議員

問 入所できなくなる要介護1、2の者に対して、対応は。また、現在の待機者は何人になるか、待機者の対応は。

答 市町村が適切な関与のもとで、施設における入所検討委員会を経て、特例的に、入所を認めていくこととなります。待機者は150名程度となっています。

問 介護・医療総合法案は市民に対しては負担が大きくなると同時に介護の利用も抑えられてしまうことが予想されます。高浜市として、この法案を撤回するよう政府に求めるべきでは。

答 国会で審議がなされているということ、その経緯を注意深く、見ていきます。現時点で撤回を求めることはいたしません。
問 碧南市では65歳以上の市民に対して、ゴミ焼却所の余熱利用施設サンビレッジの浴場などが

が利用できる利用券を年間24枚配布している。高浜市においても、実施する考えは。
答 日常的に運動など行っている人の割合などの指標を達成するには、お風呂に特化したサービスマイル事業などの推進が合致していると考えていますのでご理解を。

防災行政について

問 沢渡町一丁目地内で、雨による浸水被害が出ていることを聞いているが、浸水対策として何か考えるものは。

答 集水桝や側溝の一部に開発行為の住宅建築時のコンクリートを洗い流したカスによって、堆積した土砂等が固まっている箇所が多数見つかりましたので、堆積物の除去をおこないます。浸水対策としまして、雨が降り出した早い段階で、側溝へ雨水を流入させるため、必要と判断される箇所をグレーチング蓋に交換をいたします。

また、区域で実施されている開発行為の事業者等に対して住宅建築時で道具の洗い流しなどが出るコンクリートなどの取り扱いについて、対応の申し入れをいたしております。



小嶋 克文 議員

防災行政について

問 地震・津波等大規模災害を被った自治体の行政サービスや復興活動を支援する「自治体の災害時相互応援協定」の現状は。

答 平成12年1月に衣浦東部五市と、平成17年11月には岐阜県多治見市、瑞浪市と協定を締結している。平成25年7月には、西三河地域全体で「西三河災害時相互応援協定」を締結している。遠隔地との協定としては、平成24年7月に開催された「第25回全国ボートサミット」において、加盟する24の市町村間で協定を締結している。

問 日常の情報交換・交流等が大事であるが、状況はどうか。

答 瑞浪市、多治見市とは担当職員の間で、防災対策についての情報交換等を行っている。ボートサミットに加盟している自治体とは、今後、ボートサミットの事務局に詳細な情報交換等について検討するよう申し入れ

たい。

問 災害時要援護者である外国人住民が、災害時に支援の担い手として行政とも連携できる取り組みが大事であると思うが。

答 外国人の防災リーダーの養成も、自主防災組織を担う地域防災リーダーの養成も、地域防災力の向上には欠かせない重要な課題である。平成29年度から新たに「防災リーダーの養成」を進める計画をしている。外国人住民の方にも、この養成講座の参加を考えている。

消防行政について

問 近年、全国的に消防団員数が減少している。これは、高齢化、サラリーマンの増加が要因である。本市の消防団員の被用者の割合、また団員確保は。

答 122名の内、79・5%の97人が被雇用者。また、22名が再入団員でもある。団員の確保については、町内会長と団長、消防団員による意見交換会を開催している。また、鬼みちまつり等のイベントの際、団員募集チラシの配布や、消防車両の展示、子どもたちによる消防車両の乗車体験など、消防団に興味をもってもらう活動も活発に行っている。



内藤とし子 議員

子ども・子育て支援新制度に関する課題について

問 子ども・子育て支援新制度によって、認定制度と認定時間を取り入れられるが、新しく入園する子どもと、今現在通っている子どもといるがその場合どうするのか。

答 1号（幼稚園）、2号（保育園3歳以上）、3号（保育園3歳未満）と分けて認定します。認定用紙と他の必要な用紙と出していたいただき、事務処理を同時に行うのでこれまでと同様変化はない。

問 認定時間については標準時間と短時間とに区分されるが区分ができるのか。仕事で遅くなったらどうするのか。

答 日々の動きは園の中で調整。延長保育料（午後6時から7時）は現在とっていない。

問 小規模保育（家庭的保育）について、厚労省からも1人は1日を通して面倒を見る人が必

要といわれていると思うが、どのように対応するのか。待機児対策も言われているが、今年も15人でている。新制度になったらどう対応するのか。

答 家庭的保育は25人利用できない。給食や保育料の軽減など利用しやすい制度となるよう検討する。講義を受けたスタッフが核となり国のガイドラインにそって行っていく。

問 学童保育については、対象者を6年生まで広げるとして、い

答 仲間を自由に作ったり、子どもの自主性を重んじる環境が重要だと考え、放課後居場所事業とあわせて進めて行く。夏休みなどは、吉浜児童センターでは火曜日の休みを日曜日にする。ことで、一般児童が遊びにくくなる。ことが出来るよう改善をしていく考え。

問 企業が経営している保育園の問題が新聞等で報道されている。社会福祉法人の人員費比率は平均71%、企業が経営する保育園の平均は53%です。人員費を削って得た多額の剰余金が法人本部や他の施設に流出している。どう対応するのか。

答 認可権者は愛知県で7月に監査が行われることになっていきます。

「高浜市議会 議会報告会」 結果報告

- ・日時：平成26年5月10日 土曜日 午後2時から午後4時まで
- ・場所：高浜エコハウス 2階 会議室
- ・出席者：高浜市議会議員 16名（全員）
- ・来場者：25名（内アンケート提出者18名）
- ・次第
 - 議長あいさつ
 - 委員会報告
 - 議会改革特別委員会
 - 議会運営委員会（臨時会について）
 - 総務建設委員会
 - 福祉文教委員会
 - 予算特別委員会
- ・内容：平成25年12月定例会、平成26年第1回臨時会及び3月定例会時で審議等を行った内容のうち、皆様へお伝えしたい内容をご報告いたしました。

●●●●● アンケート集約結果 ●●●●●

1) あなた自身のことについて

居住関係（複数回答あり）

a	市内在住者	17
	市内在住在勤者	2
	市内在勤者	0
	市内在学者	0
	市外	1

性別

c	男性	15
	女性	3

年齢

d	10歳代	0
	20歳代	1
	30歳代	1
	40歳代	0
	50歳代	1
	60歳代	8
	70歳以上	7

2) 今までに参加された回数

a	1回	7
b	2回	0
c	3回	5
d	4回	4
e	5回	2

3) 本日の報告会は、どこで知りましたか。（複数回答あり）

a	高浜市広報	8
b	高浜市議会だより	8
c	高浜市ホームページ	2
d	高浜市議会議員	6
e	知り合い	2
f	その他	2

4) 本日の報告会の内容は、いかがですか。

a	よく理解できた	4
b	まあまあ理解できた	7
c	分かりづらかった	2
d	まったく理解できなかった	0
e	その他	0

「3) 本日の報告会は、どこで知りましたか。」
でのコメント

「f その他」欄：・町内会役員会・行政連絡会

「4) 本日の報告会の内容は、いかがですか。」
でのコメント

「c 分かりづらかった」欄：難しい役所言葉でなくわかりやすいことばで話してください。憲法だって口語体の本が出版されています。

5) 各委員会の報告後質疑以外で、本日の報告に関するご質問等。

第6次高浜市総合・・・の反対、賛成の意見の説明が速すぎてわかりにくかった。もう少しゆっくりと。P15公園・緑地・・・の項について緑化計画との関連は。

面積の小さい本市ですが、空（荒）地を各所に目にしますが、TPPとは別の観点ですが、高齢者の能力（別に）生涯現役とかに農地空地の有効利用の増進はどうか。宜しく。

6) その他、高浜市議会に対してのご意見等。

高浜市総合計画について、賛成意見は安易に今までのことを続けていけばよいということが見え見えです。市民の本音に切り込んで計画されたものではなく、言葉面もツラツラとあちこちから持ってきた文面をくっつけただけのように思えてなりません。形だけの議会、市政になっていることにあらためてガックリしました。市民菜園の件につきまして、住民にやさしいまちづくりを目指しているのならば、条例はそのままのこすべきだったのではないのでしょうか。やさしい条例づくりのために議員さんたちは力を尽くすべきではないのでしょうか。

マイナンバー法についての対応が現在どこまで進んでいるのか。個人情報との議論がまだ解決したとは言えないのでは。

この「アンケート集約結果及び回答」については、高浜市公式ホームページ「高浜市議会」内に掲載しています。

次回「高浜市議会 議会報告会」は平成26年9月定例会終了後に開催予定をしております。



本議会（定例会・臨時会）放送の視聴

インターネット回線に接続されているパソコンやスマートフォンから生（ライブ）中継や録画中継をご覧になることができます。

なお、録画中継は、生（ライブ）放送後、おおむね2週間以内に配信を予定しています。

※議会放送関係の注意事項について、高浜市公式ホームページ「高浜市議会映像ネット配信」内に掲載していますので、必ずご確認ください。

PC向けアドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/>

スマートフォン向けアドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/sp/>



←スマートフォン用QRコード

※視聴は無料です。ただし、通信料等は視聴者様のご負担となります。

※動画配信となりますので、視聴者様の通信料等の契約内容により高額となる場合がありますので、ご注意ください。

※視聴には、今一度、契約内容を確認ください。

● 9月定例会の日程 ●

午前10時～

日	曜	会議日程	付議事項
2日	火	本 会 議	開会、市長招集挨拶、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸報告、議案上程、説明、一部採決、報告
4日	木	本 会 議	一般質問
5日	金	本 会 議	一般質問
8日	月	本 会 議	総括質疑、決算特別委員会設置、議案委員会付託
10日	水	決算特別委員会	付託案件審査
11日	木	決算特別委員会	付託案件審査
12日	金	決算特別委員会	付託案件審査
18日	木	総務建設委員会	付託案件審査
19日	金	福祉文教委員会	付託案件審査
29日	月	本 会 議	委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、採決、閉会

(都合により、日程を変更する場合があります。)



9月定例会を 傍聴して みませんか

定例会は3・6・9・12月の年4回開催されます。

一般質問等で市政全般にわたって論議が展開されます。

ぜひ、一度お出かけください。

● 編集委員紹介 ●



後列左から／

鷺見宗重委員・長谷川広昌委員・黒川美克委員・小野田由紀子委員

前列左から／

柴田耕一副委員長・杉浦敏和委員長

特別委員会の設置

平成26年6月定例会最終日において、正副議長を除くほかの全議員(14名)が委員となり、議会として真に必要とされる「公共施設

の再生」を指し、審査・調査・研究することを目的に、「公共施設あり方検討特別委員会」が設置されました。

表紙の説明

5月10日(土)午後2時より、高浜エコハウス2階会議室において、高浜市議会議員全員による「議会報告会」が開催されました。また、当日は市民の方々から貴重なご質問やご意見などを多数頂戴いたしました。誠にありがとうございました。

編集後記

5月より、平成26年度の新しい編集委員が決まりました。
今年の夏は5年ぶりにエルニーニョ現象が発生「冷夏」との予想もありますが、ゲリラ豪雨の心配もされます。昨年夏のゲリラ豪雨被害を教訓とし、常に、気象庁の天気情報「記録的短時間大雨情報」を確認しましょう。
市民の皆様方にとって、わかりやすい市議会だよりになるよう、編集委員一同努力してまいります。